

令和 6 年度東大阪市地域研究助成金事業
研究成果の今後の活用について

研究テーマ	近鉄大阪線沿線のまちづくりに関する研究
担当部署	交通戦略室

研究概要	<p>近鉄大阪線の長瀬駅、弥刀駅周辺地域においては、狭隘な道路が多く、市街地の更新が遅れているなど、地域の安全・安心な暮らしや円滑な経済活動に課題を抱えている。</p> <p>当該エリアを活性化させるため、市街地の更新が遅れている原因を究明するとともにまちづくりを加速させる最も効果的な施策を立案することを目的として、近鉄大阪線沿線の地域住民ニーズ、空き家・空き地の把握及び駅周辺の開発手法について、分析考察を行った。</p>
研究成果	<p>近鉄大阪線沿線の地域住民を対象としたアンケートでは、「道路の広さ・通行のしやすさ」や「災害に強いまち」の満足度が低く、市が考える地域の課題と地域住民が抱える課題が一致した。</p> <p>アンケートの回収率が8割となった為、地域の関心度の高さを知ることができた。</p> <p>道路の幅が狭い場所に空き家・空き地が多いことが分かった。</p>
今後の活用	<p>近鉄大阪線沿線の地域住民ニーズや空き家・空き地の状況を把握できたことで、まちづくりを実施する根拠として活用する。</p> <p>研究成果を関係者へ共有することで、まちづくりの推進につなげていく。</p> <p>本研究に留まらず、今後も近畿大学と連携してまちづくりの具体化に向けた検討を進めていく。</p>